発掘だより

VOL. 33

2007. 07

国民文化祭まで、あと三ヶ月！！皆さんの学校でもかかし作りや藍染めの作品作りなど着々と準備を進めていることでしょう。

今回は国文祭で紹介する遊戯（ゆうぎ）の一つ蹴鞠（けまり）を紹介します。

蹴鞠（けまり）とは？

簡単にいうと！

『平安貴族のサッカー』
蹴鞠は四本の式木でかこんだ庭をコートに、鹿革製の鞠を高く蹴りあげる（リフティング）の長さで優劣をきめる遊戯です。

装束（しょうぞく）は？

烏帽子（えぼし）をかぶり、鞠水干（まりすいかん）を着て、鞠袴（まりばかま）をはき、沓（くつ）をはいてます。

鞠（まり）

鞠は鹿革で出来ています。なめした円形の革2枚を縫い合わせ内部より張りふくらませており、中空になっています。

紙風船のようなふくらみかたをしています。

蹴鞠の歴史

蹴鞠は今からおよそ1400年程前に仏教などとともに中国から伝わったものです。

一口メモ！

大化の改新の立役者となった中大兄大子と中臣鎌足の出会いは、奈良の法興寺（今の飛鳥寺）で催された蹴鞠の会であったことは有名な話です。中大兄大子の脱げた沓を中臣鎌が拾い、ひざまずいて差し出したことがきっかけで二人は親密になり、645年の大化の改新には共に蘇我氏をたおしたのです。

蹴鞠は、日本独自の発展をとげ、鎌倉後期には家元制度が確立し、飛鳥井（あすかい）・難波（なんば）・御子左（みこひだり）の三家が宗家として免許状を発行しました。

天皇から公家・将軍・武家・神官・僧侶、一般の民衆にいたるまで広く蹴鞠を楽しんだことは文献などにも記されています。

蹴鞠ってどんな場所でするの？

蹴鞠を行う場所を、鞠庭（まりにわ）・鞠場（まりば）・鞠懸（まりか）かり・鞠壷（まりつぼ）などと呼びます。広さは15メートル四方、地中に壷を埋めて、蹴った鞠の音の反響を良くしています。鞠庭の四隅には、西北に松・東北に桜・東南に柳・西南に楓の木を植えます。

見てみたいな～？

現在、保存団体には京都の蹴鞠保存会と香川県琴平の金比羅保存会があって年に数回、下賀茂神社や金比羅宮で奉納蹴鞠が行われてい

蹴鞠をしていた有名人は？

平安時代・・藤原成通
鎌倉時代・・源頼家・実朝
室町時代・・足利義満・義政・細川成之
戦国時代・・織田信長・豊臣秀吉
徳川家康・武田信玄
上杉謙信・石田三成
近代　・・坂本龍馬・方歳三など

蜂須賀家が築いた徳島城には鞠庭があったんですよ。

国民文化祭の時には蹴鞠体験が出来ます。本物の鞠で挑戦してください。

現場トピック

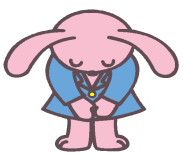
現場では、以前発掘した枯山水庭園の西側を調査しています。最近ある一定の区画に集中して、多くの釘・鉄・陶磁器などが出土しています。

さて左の遺物は何だと思いますか？

答えは・・鳥のえさ入れです。その時代の優雅な生活を思わせる一品ですね。

＊現場見学の際は事務所にお申し付けください。資料を用意しております。

sachiko.k



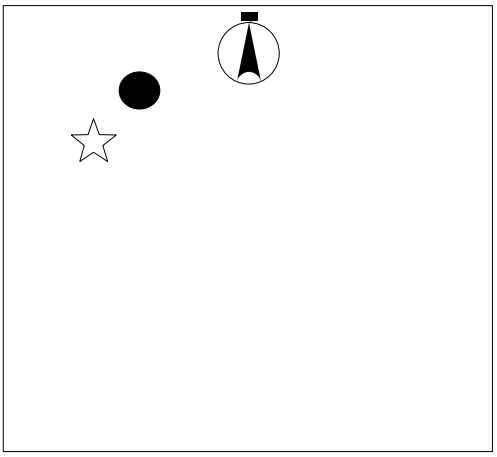
問い合わせ先

藍住町教育委員会　社会教育課　勝瑞城館跡　発掘現場事務所
E-mail：syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp
TEL_FAX（088)641-3466　URL：http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/

「しゅうきく」とも言われ、沓（くつ）で革製の鞠を高く蹴り上げ、地面に落とさないように数人（8人以内）で受け渡していくものです。

☆ 鞠足（競技者）
● 懸かり木

（鞠足は 4・6・8 人でもよい）



大和

今からおよそ 1400 年前（飛鳥時代）仏教とともに中国から伝わる。

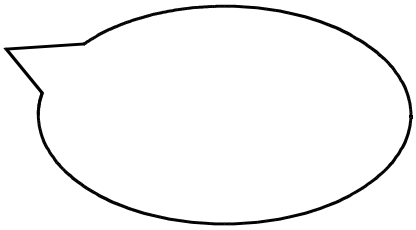
奈良

日本書記の中で中大兄皇子（後の天智天皇）が六四四年奈良の法興寺（今の飛鳥寺）で催された蹴鞠（けまり）で、中大兄皇子の脱げた沓（くつ）を下級役人の中臣鎌足が拾い、ひざまずいて差し出したことがきっかけとなり、翌年の大化の改新の緒（いとぐち）になりました。

平安

鎌倉

蹴鞠は、日本独自の発達をとげ、鎌倉後期には家元制度が確立し、飛鳥井（あすかい）・難波（なんば）・御子左（みこひだり）の三家が宗家として免許状を発行しました。



室町

近世